



三原中だより

平成27年度 第2号
発行 平成27年5月26日
八丈町立三原中学校

『これぞ、三原中学校の修学旅行！！』

初夏の風もさわやかな頃となりました。先日のPTA全体委員会並びにPTA総会へのご協力、ありがとうございました。お陰様で今年度のPTA活動も順調にスタートすることができました。

さて、平成27年度がスタートして2ヶ月が過ぎようとしています、この間に大きな行事がありました。

ひとつは3年生の修学旅行です。広島原爆ドームや奈良、京都の文化財は何を語り、伝えてくれているのかを、生徒たちは全身で感じとってくれたと思います。また、私には4泊5日の修学旅行を通してもうひとつ収穫がありました。それは、「これぞ、三原中学校の修学旅行」と思えたことです。生徒達は写真をとってあげたり、エレベーターのドアを開けて乗り込むのを待っていたりするなどの少しの気遣いに対し、「ありがとうございました」という言葉を必ず返してくれました。些細なことも他人事にせず、時にみんなで集まり、意思疎通を図り次々と行動していく姿は頼もしい限りでした。広島平和記念公園での平和への願いを込めて歌った「HEIWAの鐘」や京都の宿舎で感謝の気持ちを込めて歌った「島に生まれて」の合唱など、心に残っている場面は挙げるときりがありません。私の目に映る3年生の姿は、人と人が「つながり」で構成された集団であると感じさせられるものでした。親しい仲間同士でも互いに気を遣いながら生活している姿や、訪れた土地で出会う人々に対する礼儀を見ていると、「これぞ！三原中学校の3年生の姿だ！」ということに自信と誇りを一層強くもちました。生徒達は、この修学旅行の取り組みを通して個人が集団をつくり、集団が個人を成長させながら、正に完成度の高い修学旅行を創り上げてくれたと思います。

3年生の皆さん、解散式の時にお願いしたように君たちが主体的に創り上げてきたこの修学旅行を2年生に伝えていってください。そして、3年生の姿や行動をモデルとして示し、1・2年生がそれに追いつくように努力するという、本校のよき伝統をさらに深く根付かせて欲しいと期待しています。

3年生の修学旅行の間に、1・2年生は乙千代ヶ浜で野外調理活動を通して交流を深めました。教員の目に映った2年生の大人びた姿も新鮮な発見で、とても嬉しいことです。事後の2年生の作文には「任せられる立場」、「頼られる先輩」を目指して活動したという感想が書かれており、ひとつ学年があがるということが、これほどまでに人の意識を高めさせてくれるものだと感心しました。

結びに6月4日に本校の開校記念日を迎えます。昭和22年の開校以来今年で満68歳となります。これからもよき伝統を受け継ぐ三原中学校でありたいと思います。

校長 武田真男



〈三原中学校の教育目標〉

人間尊重の精神を基調とし、豊かな社会の形成に貢献できる人間を育成する。

○やさしい人

○たくましい人

○よく学ぶ人

〈校訓〉

『紳士たれ・淑女たれ』

三原中学校ホームページ <http://www.hachijomachi-tky.ed.jp/miharachu/>

『すばらしかった修学旅行』

3 学年主任 川畑喜照

「自分たちで創りあげる修学旅行にしよう」を合い言葉に2年生の後半から修学旅行に向けて取り組んできました。実行委員を中心に自分たちでルールを決め、東京・京都の班行動も班ごとに計画しました。自分たちでしっかりと行動しようとする意識が高かったためにすべての行程で早め早めの行動ができて順調でした。一番心に残っているのは、原爆の子の像の前でのセレモニー、「HEIWAの鐘」の合唱です。16人のとても美しい歌声が響き渡り、集まった人々も聞き入っていました。地元の方からも「禎子さんが喜んでいるよ」と声をかけられて、生徒たちの平和への想いが届いたみたいでした。宮島の厳島神社、奈良の法隆寺、大仏殿、京都の寺院、どこに行っても青空がきれいでした。カメラにも生徒の心にも美しいスナップとして残ったことでしょう。

宿舎の方、添乗員さん、看護師さんなどお世話になった方々が笑顔で見送ってくれました。それは、あいさつや素直な態度、感謝の気持ちを伝える姿勢、そのようなことがしっかりと身に付き、表現できていた証明だったと思います。いくつもの修学旅行に同行している添乗員さんも「心に残る修学旅行」と伝えてくれました。出発当日から好天に恵まれたのは、いい修学旅行になってほしいと願ってくださった保護者の皆様の想いが通じたからだと思っています。修学旅行へのご理解とご協力ありがとうございました。



『16人16色』 3年担任 小泉雅一

3年生の修学旅行の大きなテーマは、「規範意識をもって、生徒が主体的に行動する。」でした。つまり、16人の生徒が「達成感」を味わって、修学旅行から帰ってこられるように準備を進めてきました。

思い起こせば、2年生の2学期の学級会で「理想の修学旅行とは・・・」を議題に話し合ったことから始まりました。「過去にとらわれず、自分たちの修学旅行にしよう。」や「先生に言われて行

動するのではなく、自分たちからやろう。」など、多くの意見が出て、具体的に形作っていきました。

何度も学級会を重ねてきましたが、一番時間をかけたのは「生活のルールづくり」です。理想の修学旅行にするためには、どんなことに気を付ければ良いのか、生徒たちは考えました。法律の条文のように細かく記すのではなく、「集団行動を意識して行動しよう。」「ルールやマナーを守ろう。」という大きなルールを決め、自分の行動がそれらに沿うものなのかを常に考えながら行動することになりました。

4泊5日の修学旅行は、大成功で終わりました。生徒たちが記した日記には、人それぞれに思い出深い出来事があり、「いつかまた行ってみたい。」と書かれていました。

事前に調べた見学地のことや事後の学習のまとめなどは、「しおり」となるスケッチブックに記録しました。何も書かれていない白いキャンバスに書き込んで行く方法です。表紙の絵も異なり、同じ見学先のことでも生徒によってまとめ方が異なります。まさに、型にはまるのではなく、生徒一人一人の個性が反映される作品に仕上がりました。

学年によってカラーも違い、新しい物語が生まれる修学旅行ですが、今年も16人の生徒たちが創り上げた「理想の修学旅行」だったのではないかと自負しています。

ご協力くださいました。保護者の皆様、ありがとうございました。

「1・2年合同遠足を終えて」

1年担任 塩生俊二

三原中学校に入学して初めての大きな行事が合同遠足です。わからないことだらけの1年生でしたが、先輩たちに導いてもらいながら、自分たちに与えられた仕事や役割に対して責任を果たしていたように感じます。振り返りの作文の中にも、「先輩が分からないことを教えてくれたので困らなかった」、「みんなをまとめる先輩方の姿を見て、自分もこうなりたいなという目標ができた」など、先輩たちの偉大さを感じた行事だったようです。そんな先輩方を見習って、来年の合同遠足では後輩たちから頼られる集団になっていることを期待しています。



「大成功」

2年担任 佐久間ともか

自分たちで考えて行動することを目指して臨んだ合同遠足でした。班長を中心に先を見通しながら活動する姿が見られ、これまで1年間の成長を感じました。また、先輩としての初めての行事でもあり、1年生をうまくサポートできるのか、とても不安に感じていたようです。当日には1年生の楽しそうな笑顔も見られ、先輩としてのスタートは大成功！と思われたのですが、2年生の作文には「作業の進行状況を把握しておらず、うまく指示を出せなかった。」

「レクリエーションをスムーズに進行できなかった。」「班員への指示に偏りがあった。」など厳しい反省が書かれていました。さらに「今回の反省を活かして、他の学校行事などで学校全体を引っ張っていけるようにしたい。」という前向きな言葉も多く含まれており、三原中生としての意識の高まりが強く感じられました。今後も2年生らしく活躍していけることを願っています。

2年生の作文から

『合同遠足』 鴨川康生

「あ、じゃあ、やります。」僕は最初、中途半端な気持ちで班長になりました。班長になると、点呼やレクリエーションの企画、班をまとめるなどたくさんの仕事があつて大変でした。

小学校の時から『班長』という役割を避けてきた僕にとっては、仕事がたくさんありすぎました。しかし、班での相談やレクを決めていくうちに「この遠足を成功させたい」という気持ちが大きくなりました。なので、休み時間などをつかってたくさん打合せをしました。

当日は予定時間通り、時にはそれ以上にスムーズに行動ができたので良かったです。しかしレクリエーションの時に、自分の係を忘れてしまったり、スムーズに進行できなかったりしたのが残念です。このような失敗を後輩にさせないためにも、僕たちは見本であり続けなければならないと思いました。



懐かしい声が届きました♪

【現 新宿区立牛込第三中学校 障子 幹 副校長先生】

この3年間は三原中の良さや八丈島の素晴らしさをたくさん発見でき、とても充実した毎日でした。生徒の皆さん、体育祭や学習発表会などで一生懸命に取り組む姿やパワフルに活動する姿は忘れません。そして、日々前進していく姿を逞しく思うとともに他者を思う優しい気持ちを感じていました。そのような皆さんの成長を間近に見ることができたのはとても幸せな時間でした。

三原中学校には多くの良き伝統が引き継がれています。是非皆さんの力でさらに良い三原中学校にしてほしいと願っています。それには「今」を大切にし、これからの「未来」に向けて自分の力を多くの場面で発揮することが大切だと思います。皆さんの活躍を心から応援しています。最後になりますがお世話になった保護者、地域の方々にもお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【現 品川区立荏原第一中学校 保健体育 増田 健太郎 先生】

三原中の皆さん、お久しぶりです。元気でやっていますか？私は元気です。海や緑や星空に囲まれた八丈島から、ビルと交通量の多い大通りに囲まれた現任校に赴任して初めのうちは正直とても大変でしたが負けずに頑張っています。生徒の皆さん、1年生は中学校生活に慣れましたか？2年生は先輩らしくなったかな？(いつまでも幼いままではだめだよ。特に男子。)3年生は行動で最上級生を示しているかな？きっとみんならしく温かで笑顔溢れる毎日を送っているでしょうね。毎日楽しく目標をもって充実した毎日を過ごしていくことを心から祈っています。

〈6月の主な行事予定〉

日	月	火	水	木	金	土
5/30	6 / 1日朝礼 2年移動教室 (旧末吉小) 1日目	2日 2年移動教室 2日目	3日 小中合同 避難訓練 職員会議	4日 開校記念日 歯科検診 S C勤務日	5日	6日
7日	8日 朝礼 安全指導 朝読書(民話 週間始)	9日 専門委員会	10日 小中合同 研修会 S C勤務日	11日	12日	13日 漢字検定 (大賀郷中)
14日	15日 朝のつどい	16日	17日 期末考査 1週間前 職員会議	18日 小中一貫型教 育校説明会	19日 朝読書(民話 週間終)	20日
21日	22日 朝礼	23日 S C勤務日	24日 期末考査①	25日 期末考査②	26日 期末考査③ 専門委員会	27日
28日	29日 朝のつどい	30日 定期 健康診断終	7 / 1日 職員会議	2日 学力向上を 図るための調査 (2年)	3日 避難訓練	4日

* S C勤務日：スクールカウンセラーの勤務日

お子様の様子が気になるときはいつでも学校へご相談下さい。(学校7-0057)

〈学校以外の相談窓口〉

☆八丈島教育相談所(2-0591) ☆東京都いじめ相談ホットライン(03-5331-8288)

☆東京都教育相談センター(03-3360-8008)

☆東京都児童相談センター(03-3202-4152)